

【KSKQ】 2018年9月号 No.198



あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日

第三種郵便物承認

毎月

(1)

2

3

4

5

6

7

8

の日)

発行



7月のフラッシュモブ その場所は……



- | | |
|-----------------------|---------|
| ○知っておきたい障害者のための健康診査事業 | 2-3 P |
| ○夏のプログラム 色々 | 4-5 P |
| ○夏がやってきたーっ！！ | 6-7 P |
| ○7. 26 難波フラッシュモブ | 8-9 P |
| ○2018年 対大阪府交渉 | 10 P |
| ○ほんわか～世話人奮闘記～ | 13 P |
| ○第2回あいえる涼しも～祭 | 14-15 P |

あいえる協会のホームページ

<http://aiel.or.jp/>

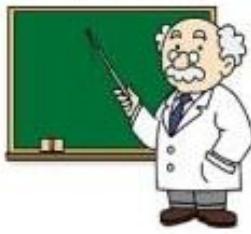
あいえる協会

検索



こちらの QR コードからも
アクセスできます

はかせ
まいど博士の知つておきたい



～障がい者のための健康診査事業～

しんじん そうだん いん
新人相談員



まいこさん

まいど博士、障がいのある方を対象にした。健康診査事業があると聞きました。どこで行っているのでしょうか？受診ができる対象について教えてください。



まいこさん、場所は、大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター診療所で行っています。利用の際は電話等で日時の予約が必要です。

対象者は大阪市内に住む18歳から74歳までの在宅の障がいのある方で以下のいずれかに該当する方です。



(1)身体障がい者手帳の交付を受けている方
(2)療育手帳の交付を受けている方
(3)精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律第5条に規定する精神障がい者 ※ただし、学校保健法、労働安全衛生法等により健康管理事業に相当する保健サービスを受けることができる方（学生や常勤雇用労働者、認可通所施設利用者など）並びに医療保険者が実施する特定健康診査を受けることができる方は除きます。※市内居住の40歳以上の障がいのある方で医療保険者が実施する特定健康診査受診券をお持ちの場合は、希望により大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター診療所での受診が可能です。

そんな事業があるんですね♪ どのような検査をしてくれるのでしょうか？



必須検査…問診、身体計測、理学的検査、血圧測定、血液検査、検尿、
貧血検査、胸部X線撮影

選択検査…心電図検査、四肢等X線撮影、肝炎ウイルス検査



※選択検査は、医師が必要と認めた方に実施します。

ひと言
費用はいくらかかりますか？



ひつづけんさ　けふう
必須検査は無料です。

せんたくけんさ　しんざんしけん　せきそく　せんたく　せんたく　せんたく
選択検査は心電図検査及び四肢等X線撮影が600円

かんざん　けんさ　せん　はせじらいとう　かん　かんえん
肝炎ウイルス検査は1000円（ただし、20歳以上で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない人は無料）。

せいしかく　ほほう　ひこゑ　ごそせいか　しみんぜい　かくせいか　せきそく　かくせいか
いずれも生活保護法による被保護世帯及び市民税非課税世帯に属する方は、証明書またはそれに代わるものがあれば無料になります。

しない　そえてゆり　さいじいとう　しょう　かた　とくていけんこうしんさ　てゆしん
※市内居住の40歳以上の障がいのある方は、特定健康診査として受診していただきますので、受診券の内容により一部窓口負担が必要な場合があります。

けんさ　り　ひんさ　ねん　なんかい
検査を受ける頻度は1年に何回受けられますか？

あと、検査時間や土日祝の診察はどうなっているのか気になります。



けんさ　り　ひんさ　ねん　かい
◎検査を受ける頻度は1年に1回になっています。

けんさ　てかん　げつとう　ひしょく　は　げつとう　ひしょく　ひしょく　ひしょく
◎検査時間は、月曜日と木曜日になっています。月曜日は午前・木曜日は午前と午後で検査ができます。なので、土、日曜日・国民の祝日・そして、12月29日～翌年1月3日の診察は行っていないようです。

日かく　ことあさ　てかん　す　じやく　じやく　じやく　じやく　じやく
※ちなみに、比較的朝の時間は空いていますが、予約を取るには余裕をもって日にちを決めてくださいね。

しんさつ　かん　こ　で　あい　か　で　みん
診査時間は、混み具合によって変わりますが1時間くらいです。

じょうほう　ていきとう　おおつかしましんしんじとう　しやく　さんじゅう　じやく　じやく　じやく
情 報 提 供：大阪市立心身 障がい者リハビリテーションセンター 担当者様

けいうき　そ　きはつけん　に　じ　しょう　と　ぼう　と　おこな　けんこう　ふくし　ぞうしん　はか
病気の早期発見と二次障がいの予防等を行い、健康と福祉の増進を図るために障がい者健康診査をぜひ利用しましょう。

しょくさい　ああさかし　ふくしきよくしんしんじょう　しや　しんりょうしよ　と　あ
詳細は、大阪市 福祉局 心身 障がい者リハビリテーションセンター 診療所にお問い合わせください。

でんわ　電話：06-6797-6567 ファックス：06-6797-8222



夏のプログラム 色々・・・

今年の夏は、特に暑かったです。

最高気温を記録したところも多くあったみたいです。

そんな暑さの中、ライフネットワークでは、色々なプログラムを楽しみました。



書道

夏にはあまり関係ないけど、精神統一で暑さも忘れます。



七夕

短冊に願いを込めて。

今年こそは…色んな願い事が笹を彩っていきます。



＜クッキング＞

毎月 1 回の定番プログラム。

メニュー決めから買物、まで、それぞれが出来ることを分担しながら、楽しみました。
今回のクッキングはチョコレート味のパンケーキでした。

＜かき氷＞

今年から導入したかき氷機。おいしいかき氷が出来上がり、みんな大満足で食べていました。



他にも、色々なプログラムがあったのですが、それはまた、別の機会に …
今はまた、秋に向けての何か楽しいことが出来ればと、検討 中です！

「夏がやってきたーっ！！」

♪だんだん涼しくなってクール♪

まいにちあつひ 毎日暑い日ですね。 ウィルのメンバーは熱中症対策として、
すいぶんほきゅうこころ こまめに水分補給を心がけています！！
こんかいはじ 今回初めてウィルのページを担当します、佐竹です。

なつ 夏といえば祭りですよね！ あいえるの夏祭りといえば場所はウィル！！
おも と思われている利用者さん、地域の方もいるのではないでしょうか？
あいえる入 職して2年目の佐竹はそう思っていました。
わたしじしん 私自身、あいえるの夏祭りの参加はまだ2回、あいえるの夏祭りについて、
あいえる協会歴16年目、ウィルの管理者の石橋さんに聞いてみました！！

なつまつ はじ とうじしゃ ちゆうしん きかく 夏祭りの始まりは、当事者リーダーが中 心になっての企画、
イベントとしてスタートしたのが始まりで、利用者さんやその家族、
そして地域の人々が来てくれる夏の楽しみなイベントになり、今年で5年目！！
なか りょうしゃ いっしょ くば せんてん しうってんじゅんび プログラムの中で利用者さんと一緒にチラシ配りなどで宣伝、出店準備
(お店のポップ、パネル作り)を行なっています。



きょねん ちいき かた りょうしゃ おも つた ぱ また、去年から地域の方や利用者さんに想いを伝えてもらう場として
かい ぶたい づく た 1階フロアに舞台を作り、出し物をしています。

ことし ぶたい かつよう たの 今年はその舞台をフル活用し、みなさんに楽しんでもらおうといろいろ
き かく かんが 企画を考えました。

午前は、参加型の相撲大会！！参加者はあいえる代表の力士と対決！！

手押し相撲、指相撲、そしてお相撲さんのラジコンを使った相撲を用意しました。子供さんや地域の方、利用者さんとたくさんの方に参加していただきました。

午後からは、ゲゲゲの鬼太郎やジバニヤンに扮した職員によるダンスの披露！！ウィルでは当日、利用者さんに楽しんで参加してもらえるように、普段のプログラムの中に披露する曲を流し、踊っていました♪



キャラクター各自、衣装など用意し、やる気満々！！あまりのかわいさに写真撮影を申し込まれるキャラクターもいました。
来年の夏祭り、今から楽しみで仕方がありません！！

ウィル 佐竹



ピア・エンジン

7. 26 難波フラッシュモブ

当法人では今年から、相模原事件を風化させないため、障害者も地域で暮らす社会の一員であることを伝えるため、長居周辺でのフラッシュモブを続けてきました。7月26日は、その相模原事件からちょうど2年が経つ日。この日はより多くの人に向けて訴えようと、難波の高島屋前でフラッシュモブを行いました。



長居とは比べものにならない大勢の人に向けて、マイクアピールやビラ配りをしました。





この日の気温は38度。熱中症で倒れたりしないよう、難波駅での休憩も欠かせませんでした。

相模原事件の被告の思想に同調する人も一定数存在する中、障害者と健常者が一緒に生きていくためにはどうすれば良いのか。一人でも多くの人に考えてもらうために、これからもフラッシュモブを続けていきたいと思います。



文責：森嶋



2018年 対大阪府交渉

8月6, 9, 22日に行われた対大阪府交渉に、あいえる協会も参加しました。ピア・エンジンは、当事者スタッフからの発言はもちろん、発言希望の利用者さんを集約して、皆で発言しました。今回は、その一部を紹介します。



柴さんは旅行が趣味。旅行するには、ヘルパーの旅行費も出さなければいけません。そのためのお金を貯めていたら、生活保護を止められそうになったことがあります。生活保護を一旦止められれば、他人介護料の申請し直しに多大な時間がかかり、その間の介助時間が足りなくなってしまいます。貯金額だけで機械的に打ち切る事の無いよう、大阪府へ求めました。

陰山さんは、お金の管理について、自分で考えるのが苦手です。お金が貯まれば、柴さんのように生活保護を止められてしまうのではないかと、柴さんと一緒に発言しました。

また、施設から地域移行する時、知らない人達と上手くやっていけるのか不安だったとのことで、地域移行への不安を取り除けるような支援を施設の入所者へしてほしいと訴えました。





みんな

～地域でつなげる介助の輪～



誰もが暮らしやすい社会の実現を目指しています。

大阪市営地下鉄では、すでに多くの駅でエレベーターが設置されていますが、そのキッカケは、地域で暮らす車イス利用者の声でした。今では車イス利用者だけでなく、妊婦や高齢者、たくさんの荷物を抱えた観光客も利用しています。障がい者にとって暮らしやすい街は、障がい者以外にも優しい街になるはずです。私たちと一緒に、住みよい社会づくりをしませんか？

ヘルパーさん大募集中！

給与や勤務時間など詳細情報は、協会ホームページをご覧ください。

